

✿ *Beautiful Skin*

メイクアップ使い方ガイド





ベースメイク

基本の 3 ポイント

01

スキンケア後はティッシュオフ

スキンケア後は、余分な水分・油分をティッシュで押さえるとパウダーが均一に乗ります。

02

パフで顔にポンポンと置くように

パウダーはこすらず、軽く置くようにパフでつけます。
少量ずつ重ねると、自然で均一な仕上がりになります。

03

仕上げはハンドプレス

最後に手のひらで包み込むようになじませます。
パウダーの密着度が高まって、より崩れにくい美しい仕上がりになります。

基本ポイントを抑えたうえで

詳しい使い方とコツをご紹介します ▶

ベースメイク基本の使い方

塗る順番

01

化粧下地



ミネラルプライマー

肌表面をなめらかに整えて毛穴の目立ちやテカリ、化粧崩れを防ぎます。

02

ファンデーション



ミネラルファンデーションF

厳選した最小限の成分にフラーレンを配合※。きめが整ったくすみのない肌に仕上げます。
※整肌成分



ミネラルファンデーション

厳選した4つの成分のみを配合。肌への負担を抑え、美しい肌に仕上げます。

03

仕上げ



ミネラルフィニッシュヴェール

上質なツヤで透明感のある肌に整えます。

塗る前の準備

スキンケアで肌を整える

スキンケア後に余分な水分と油分をティッシュで押さえるとパウダーがより均一に密着してムラなく仕上がります。



パウダーをパフにとる

01

開封



透明シール

蓋を開けたら、パフの下にある透明シールをはがします。

02

パウダーを出す



パフを軽く容器に添えながら、上下に裏返すように振ってパウダーを出します。

03

パフになじませる



容器の中蓋や手の甲、ティッシュの上でパウダーを軽くなじませます。

ポイント

パフにつけるパウダーは少量ずつ
厚塗りにはムラの原因になります。
薄く重ねると、自然で美しく仕上がります。

○ 適正量



× つける量が多い



× つける量が少ない



ベースメイク基本の使い方

パウダーをつける



全アイテム
共通

こすらずに、顔の中心からポンポンとやさしく置くようにつけます。



小鼻や目元の細かい部分

パフを折ったり角を使うと、細かい部分もつけやすいです。目尻など小じわが気になる部分は、塗布後に指の腹でやさしくなじませると、パウダーが密着して目立ちにくくなります。



化粧下地

ミネラルプライマー



ファンデーション

ミネラルファンデーション
ミネラルファンデーション



仕上げ

ミネラルフィニッシュヴェール

部分的にベタつきを抑えたい

皮脂が出やすいTゾーンやベタつきが気になる部分を重点的に塗ります。



全体的にベタつきを抑えたい

全体をさらっと整えたい場合は顔全体に塗ります。



面積の広い部分から塗る

頬や額など面積の広い部分は、紫外線が当たりやすいので重点的にカバー。

広い部分から全体を整えたあとに小鼻や口まわりなど細かい部分をカバーすると、ムラやヨレが少なくてきれいに仕上がります。



〈塗り順〉

- ① 面積の広い部分
- ② 面積の狭い部分

重ね塗りでカバー力を自由に調整



付けすぎたときは、パウダーがついていないパフ面でなじませると自然に仕上がります。

1度塗り 顔全体

上質なツヤで、キメの整った透明感を演出。



2度塗り 部分使い

ハイライト効果で上品な立体感を演出。



アイメイクに

デコルテに

アイシャドウ

ミネラルアイシャドウ



アイシャドウブラシ
[カバー付き]

容器のフタにパウダーをとり、
ブラシになじませます。
仕上がり好みに合わせてつ
けてください。



● モカブラウン ● アーバンキャメル ● セピアローズ ● ベビーピンク



チーク

ミネラルチーク



チークパフ

パフで容器からパウダーをとり
やさしく押さえるように肌に
つけます。



● ナチュラルピンク ● コーラルベージュ



リップ

ミネラルリップグロス



上下くちびるの中央にグロス
をのせて、サイドに塗り広げ
てください。



● フレンチローズ ● ハニーピンク ● ソフトオレンジ

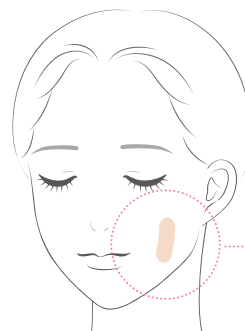


よくある質問

Q1 ファンデーションの色選びは？

A. 肌なじみのよい中間色〈N1〉を基本にお試ください。

赤みと黄みのバランスがとれた中間色を基本に、ご自身の肌色に合わせて色味や明るさを調整して選びます。



色の試し方

まず中間色〈N1〉をフェイスラインに塗り、肌色になじむかご確認ください。

- 中間色より肌が明るく見える場合 〈Y1〉や〈P1〉
- 中間色より肌が暗く見える場合 〈Y3〉や〈N3〉

室内の照明とともに、自然光でも確認するとより肌になじむ色がわかります。

ファンデーションカラー [全5色]

イエロー系 [やや黄み寄りの色]		ベージュ系 [赤みと黄みの中間色]	ピンク系 [やや赤み寄りの色]
赤みをおさえたい しみやニキビが気になる		自然な仕上がりになりたい	血色よく見せたい くすみが気になる
明るい肌色	ウォームライト Y1	ヌーディライト N1 人気色	クールライト P1
	ウォームミディアム Y3	ヌーディミディアム N3	
健康的な肌色			
黄み寄り			赤み寄り

Q2 肌トラブルをカバーしたい。

A. 色の使い分けと重ね方で自然にカバーできます。

ファンデーションの色を使い分けると、厚塗りにならずに肌悩みを自然にカバーできます。気になる箇所には、少し濃い色を部分的に重ねるのがおすすめです。

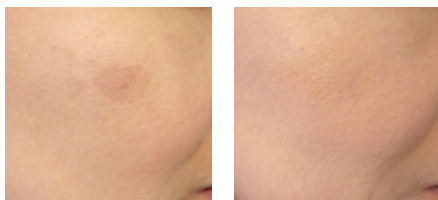


ニキビ

ニキビの赤みや色ムラを整えたいときは、イエローやベージュ系カラーがおすすめです。少量ずつ重ねて塗ると、肌の凹凸も自然にカバーできます。

ウォームライト Y1

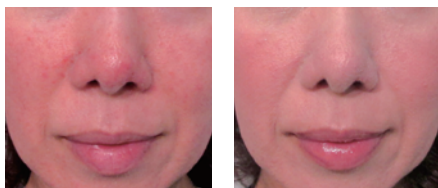
ヌーディライト N1



しみ

色の濃いしみは、ワントーン明るめのベージュ系カラーでカバーすると透明感を損なわず自然に仕上がります。

ヌーディライト N1



酒さ

とくに赤みが目立つ部分は、イエロー系パウダーで軽く押さえるように塗ると肌全体が落ち着いた印象に仕上がります。

ウォームライト Y1

ウォームミディアム Y3

※チークを使用しています



レチノイド反応

石けんでやさしく落とせるので、治療中のデリケートな肌やダウンタイムのカバーにもお使いいただけます。

ウォームライト Y1

Q3 容器を振ってもパウダーが出ません。

A. パフを軽く押さえて振るのがコツです。

パフをケースに押し付ける力が強いと、パウダーが出にくくなることがあります。指を軽く添える程度にして上下に裏返すように振ると、パウダーがスムーズに出ます。

○ 軽い持ち方



× 抑えすぎの持ち方



point

パウダーに水分が付着すると出にくくなる場合があります。高温多湿を避け、パフは乾かしてからケースに戻してください。

Q4 日焼け止めを使うタイミングは？

A. 乳液タイプの日焼け止めはスキンケアの後 パウダータイプの日焼け止めはファンデーションの後に重ねてください。

ビューティフルスキン UV製品と使う順番



Q5 石けんだけでメイクオフできますか？

A. クレンジング不要です。

オイルや合成ポリマーを使用していないため、クレンジングは不要です。洗顔料だけでやさしく落とせます。

洗い残しが気になる場合は、オイルフリー・アルコールフリーのクレンジングをおすすめします。

Q6 パウダーファンデーションは乾燥しませんか？

A. しっとりなめらかな使用感のパウダーです。

余分な皮脂を吸着しながら、肌のうるおいを守って崩れにくい肌を保ちます。

\ point /

乾燥が気になるとき

スキンケアでしっかり保湿して、プライマーの量を調整したうえで仕上げにハンドプレスでやさしくなじませます。
肌との密着度が高まり塗布直後の粉っぽさを防げます。

Q7 パフのお手入れ方法は？

A. 中性洗剤でやさしく洗い、陰干しでしっかり乾かします。

ぬるま湯でやさしくもみ洗いをして、よくすすいでください。水気を十分にしぼったあと陰干しでしっかり乾かすと安心です。

清潔に使うため、週1回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

